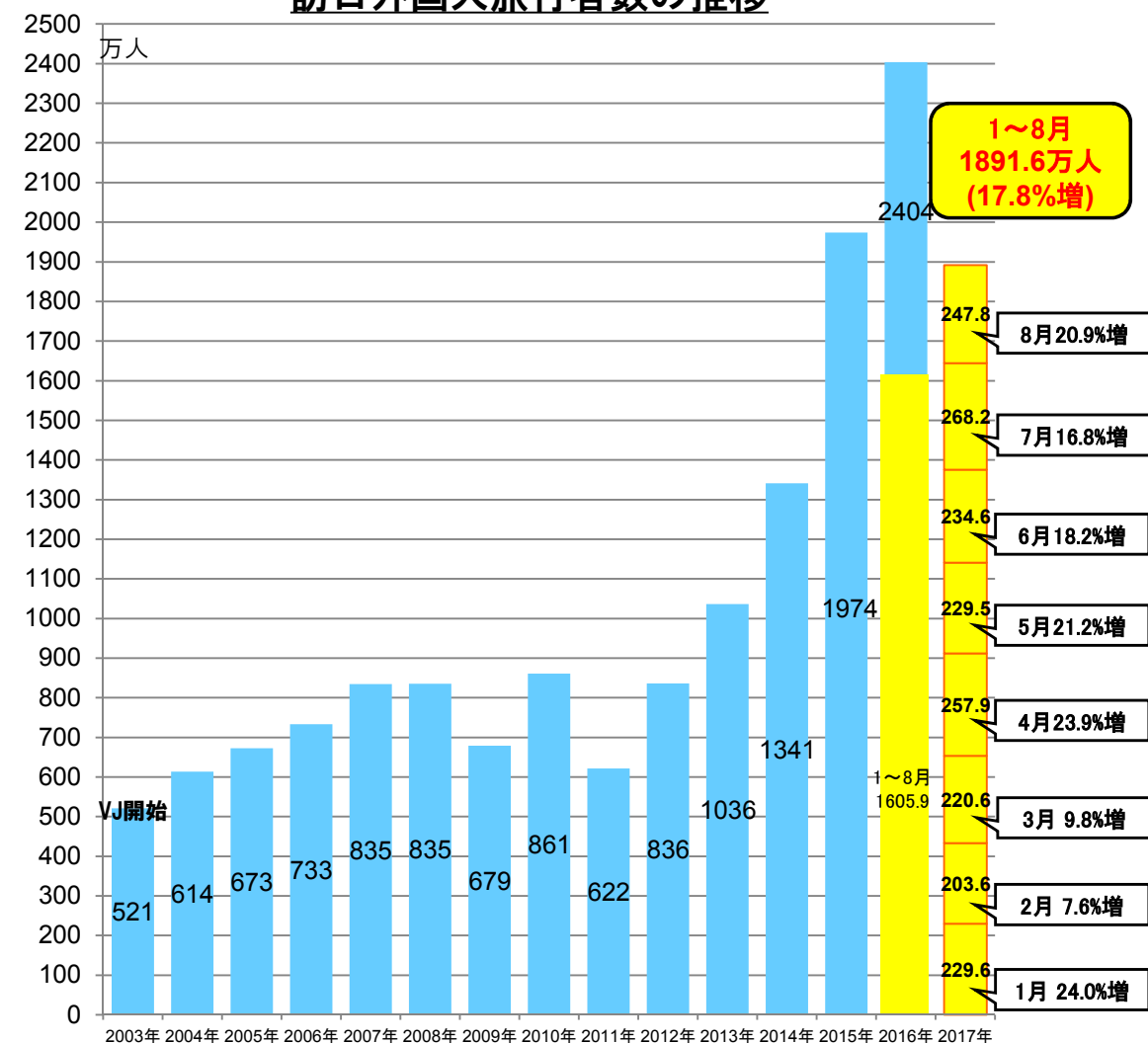


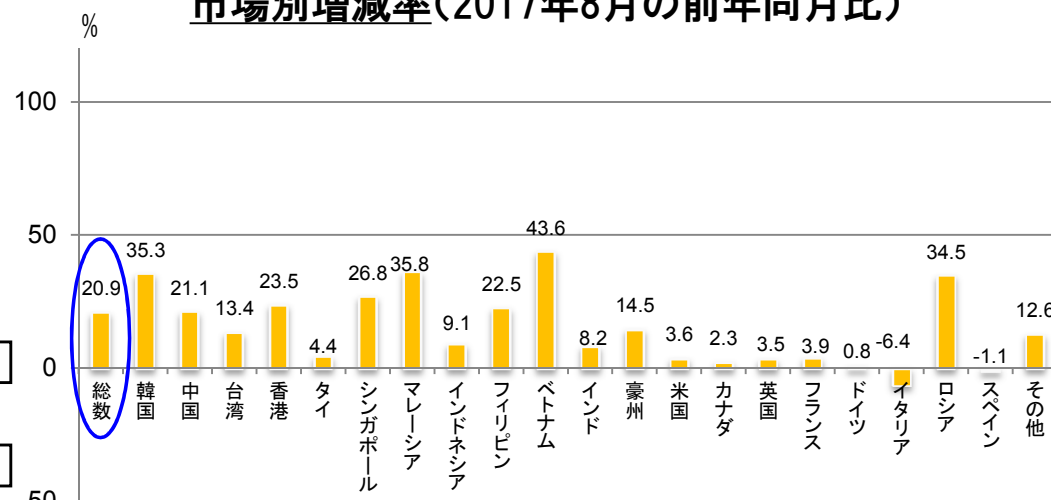
2017年8月の訪日外国人旅行者数

- 2017年8月の訪日外国人旅行者数は、当月として過去最高となる247.8万人となった。
- 中国においてクルーズ船寄港数の増加等により、単月として過去最高を記録した。また、韓国や香港での航空便数の増加が訪日需要を喚起したこと等により、全体として対前年同月比20.9%増となった。
- インドネシア、イタリア、ロシア、スペインを除く16市場が8月として過去最高を記録した。

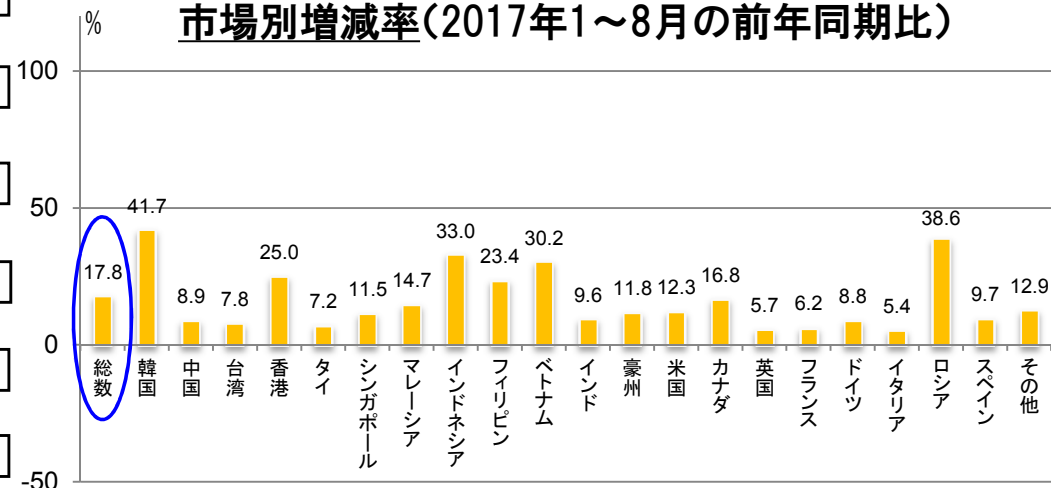
訪日外国人旅行者数の推移



市場別増減率(2017年8月の前年同月比)



市場別増減率(2017年1～8月の前年同期比)

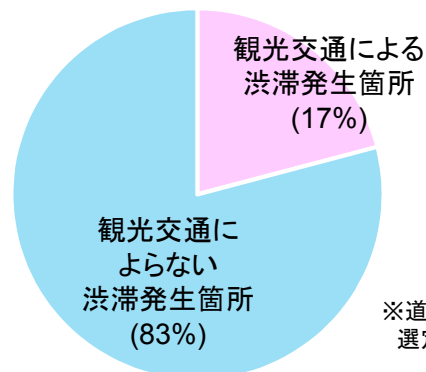


観光地の道路交通の課題

観光地の渋滞

- 渋滞の約2割は観光地周辺で発生
- 観光客の約半数が「渋滞」などに不満

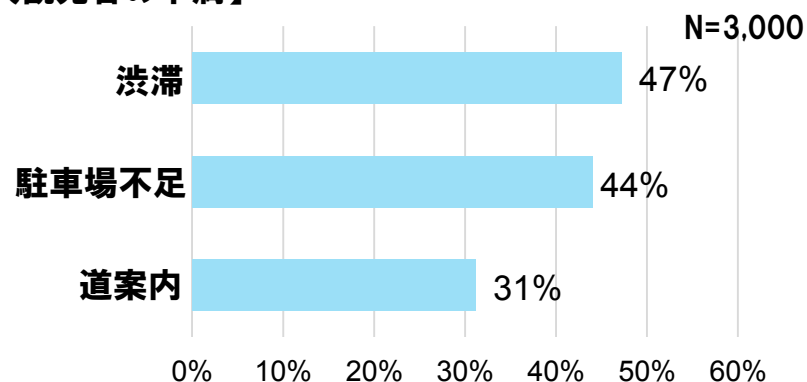
【観光地周辺の主要渋滞箇所※】



※道路交通関係データや地域の意見を踏まえ
選定された全国9,099箇所の渋滞多発箇所
(H27年12月時点)

出典)国土交通省調べ

【日本人観光客の不満】

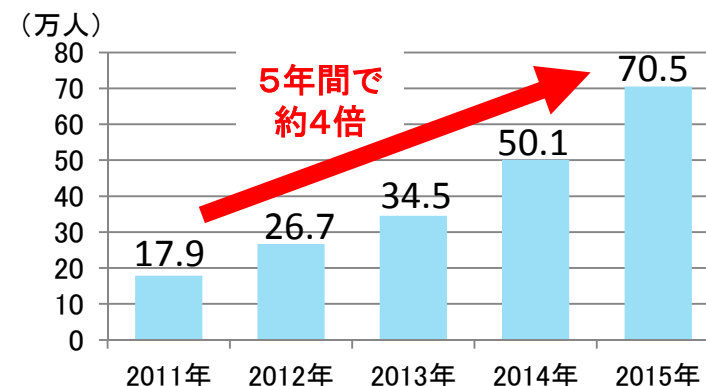


出典)国土交通省調べ

訪日外国人が利用するレンタカーの事故

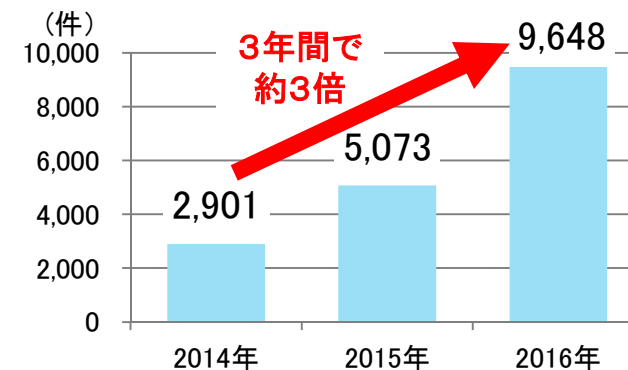
- レンタカーを利用する訪日外国人は5年間で約4倍に増加
- 沖縄県では事故件数も3年間で約3倍に増加

【レンタカーを利用した訪日外国人の推移】



注)国際定期便を利用して空港から出国した外国人旅客数(推定値)
出典)国際航空旅客動態調査(航空局)

【外国人レンタカーの事故件数の推移(沖縄県)】



資料:沖縄県レンタカー協会調べ ※物損事故等を含む

①ICT・AIを活用したエリア観光渋滞対策

②訪日外国人レンタカー事故ピンポイント対策

①ICT・AIを活用したエリア観光渋滞対策について

観光地周辺で広域的に発生する渋滞を解消し、回遊性が高く、円滑な移動が可能な魅力ある観光地を創造するため、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実験・実装を推進・支援。

革新的な技術



ICT

- ETC2.0、高度化光ビーコン、AIカメラ等で人や車の動きを収集
- AIの分析・予測結果に基づき人や車の流れを最適化



AI

- 過去の渋滞発生履歴をAIが学習・分析
- 交通の変化をAIが判断し渋滞発生を予測

ビッグデータ(観光客・車・公共交通等)

エリアマネジメント

観光交通イノベーション地域



交通需要マネジメント(TDM)

信号制御、交通規制等

道路空間の再編

等

鎌倉市、京都市において、ICTによる人や車の動向把握等の実証実験に本年秋頃から着手予定※

※ この他、実験計画等の具体化に向けて検討を行う地域として軽井沢町、神戸市を選定

②訪日外国人観光客レンタカー事故ピンポイント対策について

急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、レンタカー事業者や警察、観光部局と連携しながら、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用して、外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を講じる。

ETC2.0等の急ブレーキデータ



※沖縄・九州で試行中

外国人特有の事故危険箇所の特定



レンタカー事業者の事故発生データ



ピンポイント事故対策 多言語注意看板

カラー舗装や ピクトグラムを活用した標識



多言語パンフレット



事故の多い箇所
を注意するパンフ
をレンタカー窓口
で配布

外国人のレンタカー利用の多い空港※を中心とする5地域で本年秋頃から順次取組を開始予定

※ 新千歳空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港、那覇空港